

学校名	狭山市立富士見小学校
本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を 承認します • 承認しません。	
本校のいじめ防止に関する実践 1 児童会のめあて 富士見小学校では、毎年新しい学年が始まると、「どんな学校にしていきたいか」について4年生以上のクラスで話し合い、代表委員会が中心となって、「児童会めあて」を決めています。今年度のめあては、「富士見っ子 光と希望のゴールへと」です。 「富士見っ子」という言葉には、「富士見小学校1～6学年となかよし学級の友達みんな」という意味が込められています。「いろいろな友達がいる富士見小学校全員が、希光と希望のゴールへたどりつけるように」という思いが込められています。「このめあては、昇降口に掲示してあり、登校する時や校庭へ出るとき、下校する時などに、いつも目に触れるようになっていきます。 2 レインボータイム 富士見小学校では、縦割り班を「レインボー班」と呼んでいます。「レインボータイム」とは、レインボー班で遊ぶ朝の時間のことです。隔週金曜日が「レインボータイム」となっています。6年生がリーダーとなり、低学年も楽しめるような遊びを考え、工夫しながら計画しています。 また、レインボー班で行う大きな行事に、11月に行っている「ふじみっ子まつり」があります。レインボー班で1つのお店を作り上げ、お店とお客の役割を交替しながら遊んで楽しむ行事です。「どんなお店にしたら、みんなが仲よく楽しめるか」をテーマに、高学年が中心になって取り組みます。お店作りを通して、班の仲間と協力する機会が増え、さらに仲が深まっていきます。今年度のスローガンは、「見つけよう 輝くみんなの 宝物」でした。当日、お店とお客の役割交代の時には、全員で「エビカニクス」の音楽に合わせてダンスを踊ります。この「エビカニタイム」も、ふじみっ子まつりでずっと続いている大切なイベントです。この全校行事で、学年に関係なく協力し、みんなで一緒に楽しむ経験ができ、みんなが輝く、宝物のような時間になりました。その後のレインボータイムでは、さらに仲よく遊ぶことができるようになりました。   	

3 なかよしキャンペーン

富士見小学校では、友達を大切に、差別のない学校をつくるために、年間2回「なかよしキャンペーン」を行っています。各委員会が工夫をこらし、他の学年の友達と関わり合えるような企画を考えています。放送委員会では、「好きな給食」や「好きな教科」のアンケートをクラスごとに行い、給食の時間に放送することで、会話のきっかけとなる取り組みを行いました。

代表委員会では、「あいさつ運動」、「狭山台中学校との交流会」を行いました。あいさつ運動の前に、事前に狭山台中学校の生徒会のみなさんとオンラインで交流会を行いました。交流会では、富士見小の児童会活動の取り組み、狭山台中学校の生徒会活動の取り組みを紹介し合い、お互いに質問をしながら、小学校で取り組めそうな活動を考えるいい機会となりました。あいさつ運動では、狭山台中学校の中学生と一緒に、富士見小学校のみんなが1日を気持ちよくスタートできるように、明るいあいさつをしました。中学生が行っている「ハイタッチ運動」を一緒に行いながら、活動ができました。登校した1年生から6年生までの児童が笑顔で挨拶をしたり、ハイタッチをする姿が見られました。



このように、富士見小学校では、全校で仲よくできるような取り組みを行ってきています。普段から、仲よく楽しく学校生活を送ることが、お互いを大切に、いじめを防ぐことにつながると考えています。これからも、相手の立場に立って考えることや、困っている友達がいたらすぐに手助けすることを忘れずに、このような取り組みを続け、「いじめや差別をしない、させない、許さない」学校づくりをしていきたいと思っています。

狭山市立富士見小学校代表委員会 6年